

動き出す、あなたの想いをお結びする市民活動情報誌

おむすび たかしま



38

2018
WINTER

たかしま・未来・円卓会議

朽木のみんなと円卓会議

朽木の未来へつなぐ物語づくりの紹介

平成27年度から朽木住民福祉協議会とたかしま市民協働交流センターはともに、朽木地域で若者も高齢者も誰もが一緒に地域の課題や将来のことなどを対話する「朽木のみんなと円卓会議」を実施してきました。

平成27年度は「朽木でずっと残していきたいものってなんだろう」をテーマに、若い方も高齢の方も一緒に『地域に残したい地域のいいもの』について話し合うことができました。「世代を越えて、こんな話ができる場があるといいね」との感想が寄せられました。

平成28年度は「世代をつなぐ朽木の今昔写真」と題して朽木市場と針畑の朽木西小学校周辺でそれぞれ3回開きました。地域の方々が昔の暮らしや仕事、学校などの写真を見て語り合い、昔と現在の風景の変化に気づき、未来にどんな風景や暮らしなどを残したいのかを話し合いました。「地域のお祭」「田園風景」「地域ぐるみの子育て」など、世代を超えて地域に残したいものやことを聞き合う機会となりました。

今年度は朽木の未来へつながる物語づくりをしています。「朽木地域の30年後にどんな暮らしがあるといいか、風景はどうなっていてほしいか、行事や祭りなどは」と参加した方々が思い描いた未来に向けて、現在からどんな暮らしや地域での取り組みがあると、思い描いた30年後につながるのか話し合っています。これまで話されたことや昨年3月に実施した朽木地域住民を対象としたアンケート調査の結果なども参考にしながら、30代〜60代の方が話し合いながら物語を作っています。完成した物語は小さな冊子にしたいと考えています。物語の中から、未来に向けて、朽木地域の中でできることが見えてくればと思います。

たかしま市民協働交流センターでは、これからも年齢や立場を超えて、誰もが地域のこれからのこと、地域への参加について対話できる場づくりをサポートしていきたいと思っています。



『マキノの豊かな自然を、 市民協働で伝えていく！』

いろいろ
たかしま
やっつけてます



マキノ自然観察クラブ

代表 今森 洋輔
 設立 平成10年4月
 連絡先 事務局：谷口良一
 高島市マキノ町白谷 344
 TEL 090-6664-8574
 HP 「マキノ自然観察クラブ」
 で検索してください。

マキノの「赤坂山」にある様々な草花や生き物の観察をしながら、マキノの魅力を発信し続ける団体が「マキノ自然観察倶楽部」です。設立のきっかけは、マキノ町で開催されたまちづくりワークショップで赤坂山の魅力を伝えていこう！と集まったメンバーからでした。平成8年から2年間調査を行った後、「これからも活動を続けながらマキノの自然の魅力を伝えていきたい」と、平成10年にマキノ自然観察倶楽部を設立し、これまでに調査した自然を記録した「赤坂山の自然ガイドブック」も同年に発行されました。

現在は4月開催の赤坂山自然観察会をスタートに、年間を通して沢山の自然体験を提供するとともに、自然と人をつなぐ「インタープリター」の養成講座など、幅広く活動されています。

「まちづくりを考えるのは行政でも、実践していくのは住民。だからこそ市民協働のまちづくりが必要。例えば、山登りイベントに来られた方に山登りだけ紹介して終わるのでなく、他の団体と連携して近くの民宿や琵琶湖での体験イベントを紹介できるネットワークがあることが大切。様々な人が協働していくことで、マキノ全体を発信することができ、ゆくゆくは高島市を一つにすることに繋がっていく。これからは、様々な団体や企業をつなげて、市民協働のまちづくりを拡げていきたい。」と話す事務局の谷口さん。これからも多くの方々に、マキノのみならず高島市の魅力をどんどん知ってもらいたいとのことです。

で、市民協働のま
ちづくりを拡げて
いきたい。」と話す
事務局の谷口さん。
これからも多く
の方々に、マキノ
のみならず高島市
の魅力をどんどん
知ってもらいたい
とのことです。

たかしま市民協働交流センターでは市民活動に関して、様々な疑問、相談をお受けしています。
ここでは、お寄せいただいた疑問にお答えしていきたいと思ひます。



Q 会議で自由に発言できる雰囲気を作りたいと思っています。参加者がそれぞれ考えていることや知恵を出し合える会議にしたいのですが。

A 会議では、経験豊富な方の発言が長くなったり、若い方が自分の考えに自信がなくて発言を控えたりという場面がありますが、さまざまな年齢や立場の方が知恵を出し合うことで異なる視点に気づいたり、新しいアイデアが生まれたりします。会議で自由に発言できる雰囲気づくりには、少し工夫が必要です。

まずは、「この会議は、経験や立場にとらわれず自由な対話から新しいアイデアや知恵を見つきたい」と司会者が伝えることが大切です。その上で、会議の参加者に対話のルールを見えるようにしておくことで安心感が生まれます。

<対話のルール>の例

- ・「何を言ってもいいですが、否定的な発言はしないで」…異なる意見に対して否定ではなく、どうしてそう考えるのかと考えることが大事です。
- ・「発言せず、ただ聞いているだけでもいい」…考えている時間も大事にします。
- ・「お互いに問いかけましょう」…異なる意見をさらに深めることが大切です。
- ・「結論が出なくてもいい」…考えがまとまっていなくても、ひらめいたことでも、発言しても大丈夫。思考の刺激になることがあります。

いかがでしょうか。試してみてください。

◎市民活動についての疑問、相談などお寄せください！

いろいろ
やって
ます

『書道で心に癒しを、生活に豊かさを、 人々に幸せを届けたい!』



湖西書き初め展 表彰の様子
今年度は1/27(土)～2/4(日)
に展示予定

心のふるさと書道会

代表 西川 守彦
設立 平成28年5月2日
会員数 11名
連絡先 高島市安曇川町
西万木828-2
野上写真館3階
TEL 090-3492-6809

「藤樹先生の教え」を「書」にする「藤樹先生書道展」と「湖西書き初め展」。高島市で40年近く毎年開催されている2つの書道展があります。書道を通じて藤樹先生の教えや高島市の魅力を全国に広めよう」と活動しているのがNPO法人心のふるさと書道会です。

以前は県内6つの文化芸術会館で書道展が開催されてきましたが、十数年前から様々な事情により継続できない書道展が増えてきました。しかし、「高島市だけは書道展を続けよう!」と高島高校の故・竹脇實先生が中心となって活動を続けられ、竹脇先生が亡き今、弟子であった、心のふるさと書道会代表の西川さんが想いを受け継いで書道展を継続しています。そして、昨年6月には様々な支援が受けられるようNPO法人を設立されました。

また、藤樹先生書道展では藤樹先生ゆかりの地(大洲市、米子市)の小学生の作品展示や中国の大学(北京大学、天津大学)との国際交流もされているとのこと。

「たくさんの方に書道の展示会を通じて、藤樹先生の教えや高島市の魅力を知ってほしい」と話される西川さん。これからもこの2つの書道展を中心に精力的に活動していきたいとのことでした。

高島の元気企業

合同会社エルブイアール

〒520-1532
高島市新旭町熊野本一丁目9-9
TEL: 0740-25-7163
FAX: 0740-20-2288
HP <http://hp.kaipoke.biz/8rn/>

「やればやるほど子どもたちに必要なことが出てきます。子どもたちの居場所となる子ども食堂や卒業後の就労先となる農業法人を創るなどです。若者が事業を運営し、経営を学べる機会も創りたいですね。発達障がいを持つ子どもに対する社会のイメージを変えたいです。」長谷川さんの子どもたちへの思いは膨らみます。多様な子どもへの豊かな体験の場が広がりそうです。

社会の発達障がいに対する 常識やイメージを変えたい

合同会社エルブイアール

代表 長谷川彰宏さん



合同会社エルブイアールは、発達障がいや学習困難を抱える子どもたちが学習の方法や社会性を身につける「みんなのね」、農業体験や野外活動をおして身体能力を高め、コミュニケーション力を伸ばして社会性を高める「みんなの木」を運営しています。

代表の長谷川彰宏さんは学習塾運営の中で不登校や発達障がいの子どもたちに出会い、学習困難な子どもを対象とした塾の必要性を感じたそうです。

2012年、児童福祉法で障がい児童の放課後等の自立支援や体験活動を提供できる制度ができました。それを機に検討を重ね、放課後等デイサービス施設「みんなのね」を2016年に、発達支援ルーム「みんなの木」を2017年に開設しました。

ここでは子どもが自ら学ぶ機会を大切にしているそうです。「ケンカが始まった時は自分たちで解決できるようギリギリまで見守ります。日々の小さな成長の積み重ねが喜びです。」と指導員の廣瀬さん。「得意なことを持つてほしいと、ある子にマジックの本を紹介したら習得するまで熱心に練習し、自信になったようです。」と指導員の藤原さん。一人ひとりの特性に寄り添っておられるのを感じます。

INFORMATION

参加者が元気になる会議のために！ ホワイトボード・ミーティング講座 参加者募集

会議の参加者が元気になる会議をしたいと思いませんか？ホワイトボードを活用することで、参加者が主体的に、安心して発言できる雰囲気づくりができます。職場や自治会、家庭や学校などでも役立つホワイトボード・ミーティングの方法を学びます。

日時：1月25日(木) 19:00～21:30

会場：新旭公民館 視聴覚室

講師：西川実佐子さん

(認定 NPO 法人しが NPO センター理事・事務局長)

受講料：500円

お申込み・お問い合わせは、たかしま市民協働交流センターまで

市民の共感と応援を集める寄付講座 ～寄付を呼びかける前にしておくこと～参加者募集

市民活動団体やボランティアグループにとって、「大事な活動しているね」と共感が広がり、ボランティアで参加という応援や寄付という応援があることが、継続的な活動のためにはとても大切です。

寄付や応援を呼びかけるためにも、活動の目的を分かりやすく表現したチラシやパンフレットを作成すること、活動報告や会計報告を誰にでも説明できるように準備することはさらに大事です。応援や寄付を集める前にしておく大事なことを学びます。

日時：2月15日(木) 19:30～21:30

会場：新旭公民館 視聴覚室

講師：戸田由美さん

(認定ファンドレイザー・高島市職員)

参加費：500円

お申込み・お問い合わせは、たかしま市民協働交流センターまで

編集後記

皆さま、新年明けましておめでとうございます。今年も、どうぞよろしく願いいたします。「1年の計は元旦にあり」の言葉通り、皆さまは今年1年の抱負を決められていますでしょうか？たかしま市民協働交流センターでは、今年も「市民活動を支えてつなぐ」をテーマに、皆さまのお役に立てればと思います。(M)

広告欄

※広告(横10cm×縦4.5cm)を募集しています。お問い合わせは右記までお願いします。



田中建材株式会社

滋賀県高島市今津町今津1677-14
TEL 0740-22-0217 FAX 0740-22-1349

- ★平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞
- ★2017年ウッドデザイン賞受賞
- ★当社独自の木質加熱アスファルト舗装が東京オリンピック・パラリンピック会場で採用されます。

調和(ハーモニー)をテーマに、環境を通して「心の進化」へ

今津東コミュニティセンターからのお知らせ

【1F ホール展示会】

今津東コミュニティセンターの1階ホール展示会のお知らせです。ご来場お待ちしております。

- 1月17日～1月23日 高島高校3年生 卒業記念展
- 2月10日～2月16日 高島高校2年生 修了作品展
- 2月20日～2月27日 あけぼの墨絵クラブ
- 3月10日～3月11日 春蘭展
- 3月14日～3月23日 押し花作品展
- 3月24日～4月1日 湖西フォトクラブ写真展

上記以外にも常設展示、短期の展示会などもあります。ご来場お待ちしております。

【世界の台所シリーズ⑩】

高島市内に在住の外国人を講師に招き、お国の料理を一緒に作ります。今回はシンガポール。お誘い合わせのうえ、是非お越しください。

講師：テン・シンヨウさん

日時：1月13日(土) 10:30～13:00

場所：東コミセン 調理室

持ち物：エプロン、タッパー(持ち帰る場合)

参加費：800円(国際協会会員は500円)

内容：シンガポールで食べられている家庭料理の作り方を教わります。

お問合わせ先：今津東コミュニティセンター
TEL：0740-22-3222 / FAX：0740-20-5757

発行：たかしま市民協働交流センター
〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1
(今津東コミュニティセンター内)

業務時間 月～金曜日(祝日を除く) 9～17時
TEL 0740-20-5758 / FAX 0740-20-5757
E-mail webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp
HP <http://tkkc.takashima-shiga.jp/>
BLOG <http://tkkc.shiga-saku.net/>
© Facebook, twitter やってます!

里山再生・里山整備のクヌギ・コナラ
原木買取りします！



近江通商株式会社
OUMITSUSHO COMPANY

高島市新旭町饗庭 2017-1
TEL：0740-25-7730